千葉県におけるケアプランデータ連携システムの普及促進について

千葉県健康福祉部
高齢者福祉課

令和8年1月14日 ケアプランデータ連携システム 全国自治体向けオンラインセミナー

本日の内容

１．千葉県について

２．令和６年度の取組について（市町村における取組等）

３．令和７年度の取組について（介護業務効率アップセンターに関する取組等）

４．振り返りと今後の課題について

千葉県について

総人口：
6,284,480人

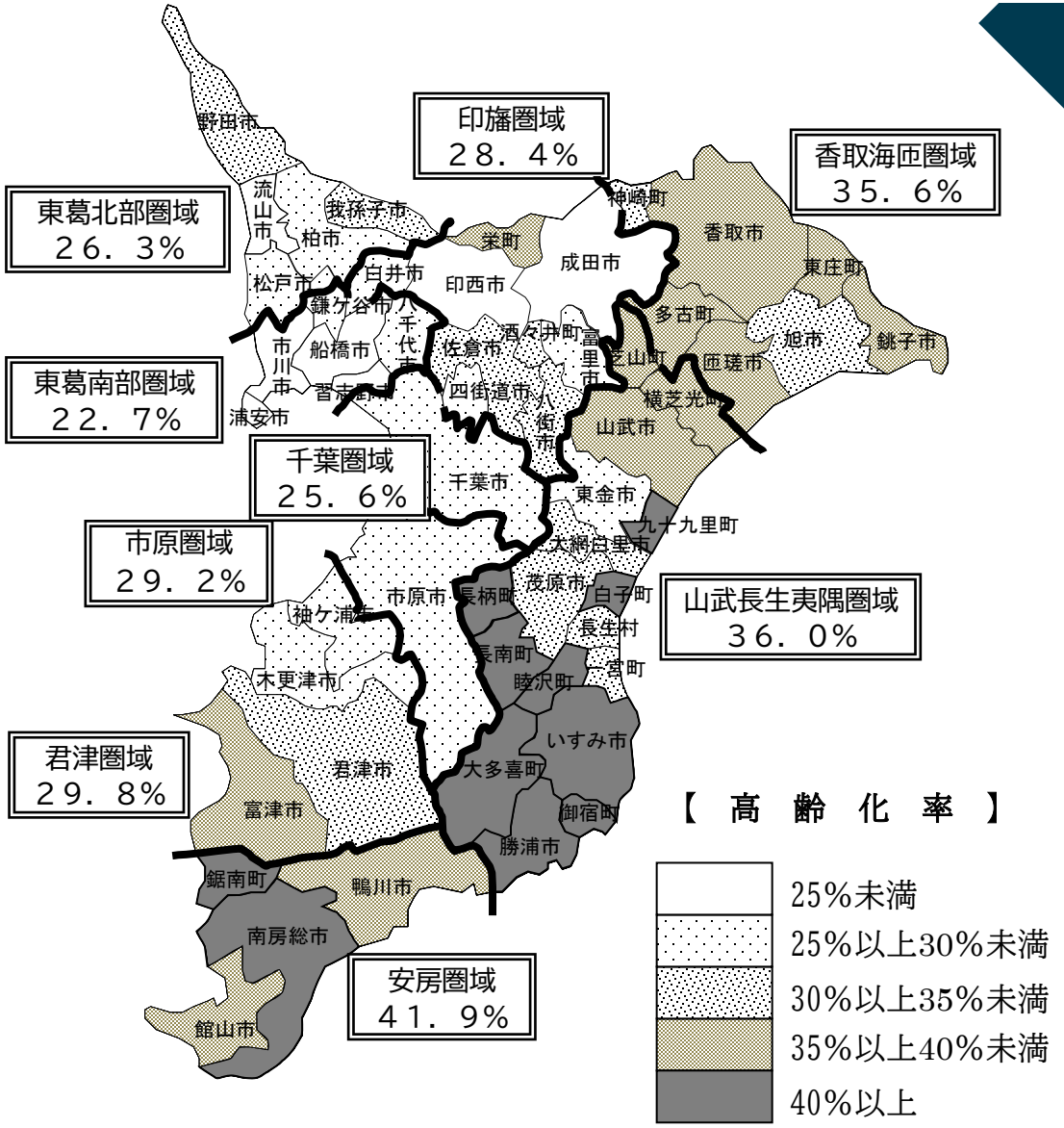
65歳以上人口：
1,733,870人

（令和2年国勢調査による）

介護事業所数（令和5年4月1日現在）

居宅サービス：	5,193か所
介護予防サービス：	2,468か所
居宅介護支援：	1,935か所
地域密着型サービス：	1,984か所
地域密着型介護予防サービス：	706か所
介護予防居宅介護支援事業：	225か所
施設サービス：	1,217か所

市町村ごとの高齢化の状況（令和2年（2020年）実績値）



※　令和2年国勢調査（実績値）をもとに作成。

千葉県について　ケアプランデータ連携システム利用状況

千葉市	中央区(13)	花見川区(6)	稲毛区(15)	若葉区(6)	緑区(24)	美浜区(4)				
市町村	旭市(6)	我孫子市(0)	いすみ市(1)	市川市(36)	市原市(20)	印西市(4)	浦安市(18)	大網白里市(7)	柏市(41)	勝浦市(0)
	香取市(13)	鎌ケ谷市(8)	鴨川市(5)	木更津市(6)	君津市(7)	佐倉市(6)	山武市(9)	白井市(1)	匝瑳市(4)	袖ケ浦市(0)
	館山市(5)	銚子市(5)	東金市(23)	富里市(1)	流山市(9)	習志野市(16)	成田市(7)	野田市(9)	富津市(2)	船橋市(117)
	松戸市(89)	南房総市(4)	茂原市(10)	八街市(1)	八千代市(9)	四街道市(13)	安房郡鋸南町(0)	夷隅郡大多喜町(0)	夷隅郡御宿町(0)	印旛郡栄町(2)
	印旛郡酒々井町(4)	香取郡神崎町(0)	香取郡多古町(9)	香取郡東庄町(6)	山武郡大網白里町(0)	山武郡九十九里町(0)	山武郡芝山町(0)	山武郡横芝光町(1)	長生郡一宮町(8)	長生郡白子町(0)
	長生郡長生村(0)	長生郡長南町(0)	長生郡長柄町(0)	長生郡睦沢町(0)						

（2025年12月2日現在　WAM NETより）

令和６年度の取組について

ケアプランデータ連携による
活用促進モデル地域づくり事業

○ 実施市町村：船橋市、松戸市

○ 事業内容：ライセンス料等の補助

○ 参加事業所数：船橋市　47事業所、松戸市　61事業所

※補助金申請受付に先立って研修会を実施

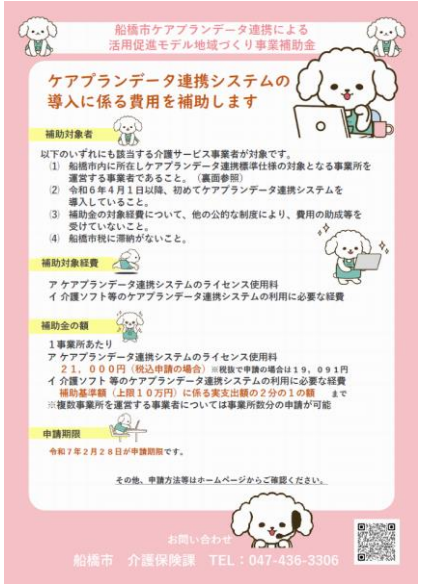
（プログラム）

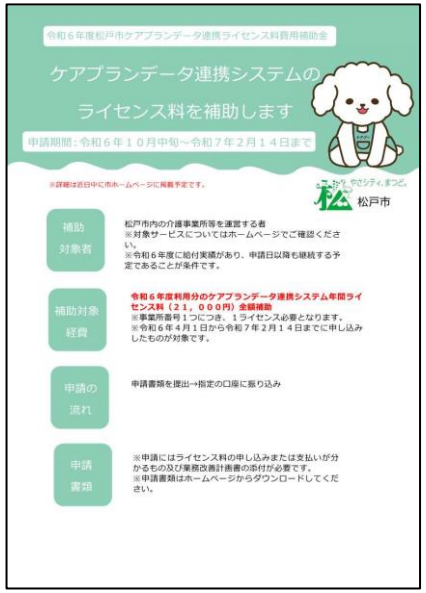
・ケアプランデータ連携システムの説明

・デモ機の操作体験

・千葉県介護業務効率アップセンターの説明

（→業務フロー・推進体制等の相談受付）



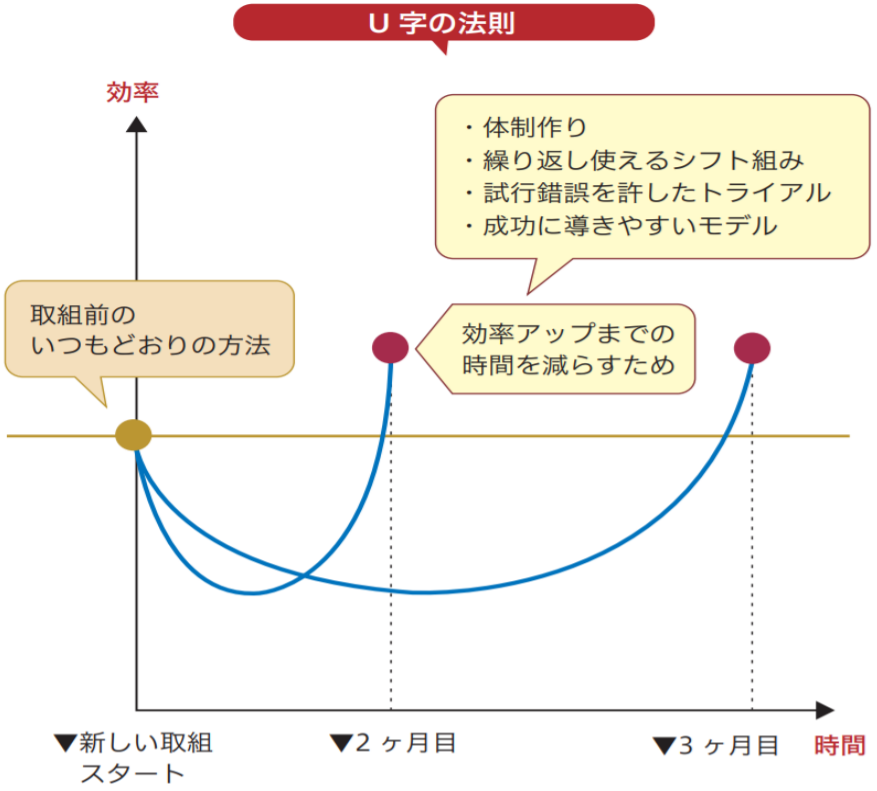


令和６年度の取組について

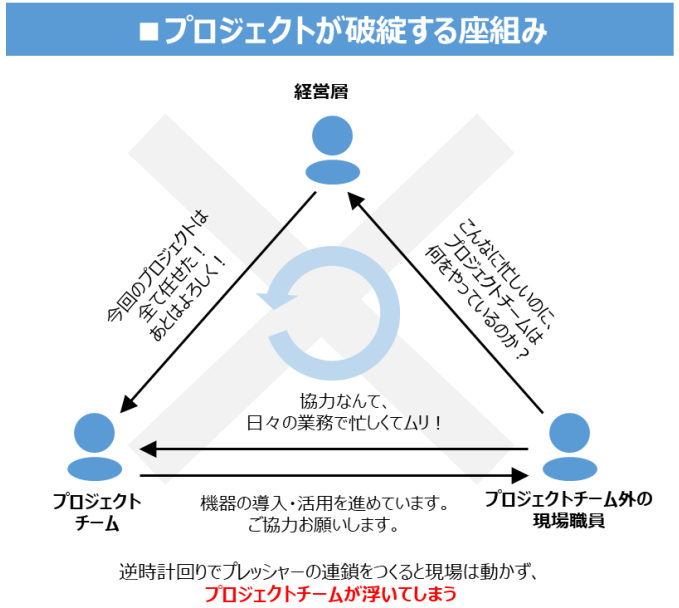
ケアプランデータ連携による
活用促進モデル地域づくり事業②

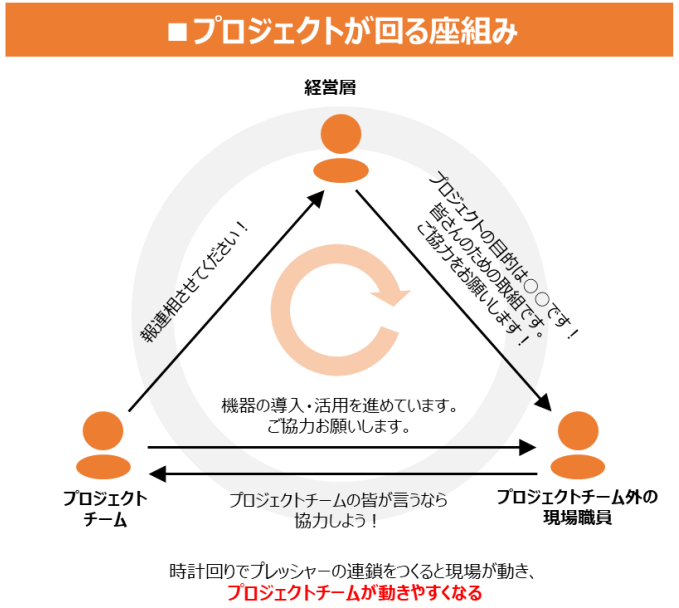
千葉県介護業務効率アップセンターによる説明内容（例）

介護テクノロジーの導入活用
「かえって手間が増えた」の正体：U字の法則



介護テクノロジーの導入活用
実施体制の整備：経営層へのお願い





令和６年度の取組について

介護業務効率アップセンター
・介護現場革新会議

千葉県介護業務
効率アップセンター

方針提示

開催支援

千葉県介護現場
革新会議

○ 令和6年4月23日オープン

○ 介護現場の業務改善における悩み事の相談や、現場職員の方々の負担軽減、業務効率アップを目的とする介護ロボットの導入等をサポートするワンストップ窓口

○ 主な支援内容

① 各種相談
② 研修会
③ 介護ロボット・ICT機器貸出
④ 伴走支援

○ 令和6年6月5日初開催

○ 主な参加者

介護関係団体、有識者、商工労働関係機関、市町村職員 等

○ 議論された内容（一部）

・介護業務効率アップセンターの周知
・小規模事業所の支援
・ケアプランデータ連携システム
・モデル介護事業所の養成

令和７年度の取組について　モデル介護事業所の養成

○ 近隣の小規模事業所などが参考とできるような地域のけん引役となる、モデル介護事業所を養成

○ 高齢者保健福祉圏域９圏域のうち、今年度は３圏域の６事業所を支援
（施設系３事業所・
在宅系３事業所）

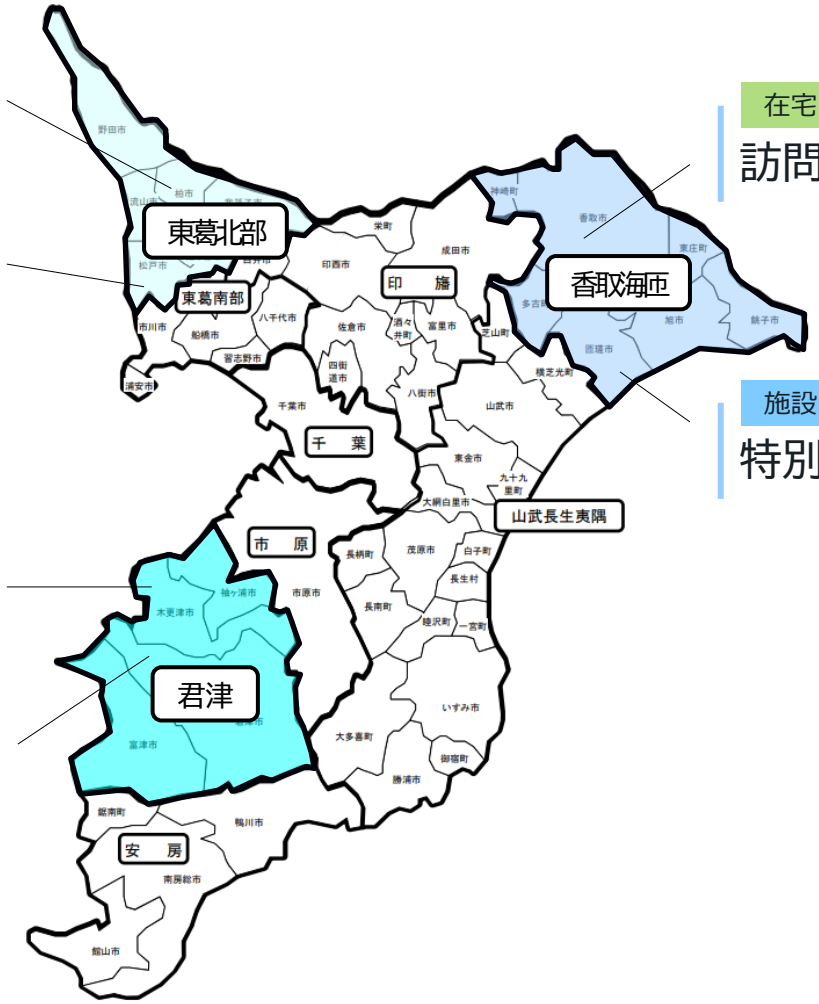
○ 業務改善の取組の横展開を図る
・事例集
・事例発表会
・見学の受入（次年度以降）

施設
特別養護老人ホーム

在宅
居宅介護支援事業所

施設
特別養護老人ホーム

在宅
居宅介護支援事業所



在宅
訪問介護事業所

施設
特別養護老人ホーム

令和７年度の取組について

○ モデル圏域（香取海匝圏域・君津圏域）において、県と圏域内市町村が協力して実施

○ 圏域内の事業所は現地参加、それ以外の県内の事業所もオンラインで参加

○ 参加数：
9/19 @匝瑳市 45事業所 65名
10/15 @君津市 49事業所 65名
(オンライン参加　計300名程度)

ケアプランデータ連携システム説明会の開催と参加事業所の反応

参加事業所の反応（アンケートより）

- 今後は必須になってくると思う。
- 導入を検討する大きなきっかけとなった。
- 介護ソフトからのデータ出力から、システムを使ったデータ送信までを体験したかった。
- １事業所で複数クライアントに対応していない。
- スモールスタートにも２事業所で年間４万円越え。
- 一年間無料なのはとても良い。居宅介護支援事業所がおおむね加入すれば参加したい。
- 行政が導入を勧めているのであれば、包括・在支は必ず導入する事を条件付けできないのか。
- 介護情報基盤についてもっと詳しく知りたい。

振り返りと今後の課題について

振 り 返 り	今後の課題
一部市町村でケアプランデータ連携システムの導入が進んだ	県全体ではこれから
多くの事業所が関心を持っていることがうかがえた	ライセンス料や周辺事業所の導入状況がネック →引き続き市町村と連携して対応
ケアプと併せて介護業務効率アップセンターを周知した	気軽に相談してもらえるよう工夫が必要
モデル事業所でペーパーレス化が進んでいる	地域の中で横展開を図る →ケアプも含めたデジタル化の土壌づくり

事例発表会（令和６年度の様子）

（https://www.pref.chiba.lg.jp/koufuku/gyoumukaizen/kaizenjireihappyo.html）

（参考）千葉県介護業務効率アップセンターホームページ

（https://chiba-kaigocenter.com/）